

令和6年度第2回 ソフトピアジャパンセンター等指定管理者評価員会議実施概要

○日 時：令和7年2月4日（火） 10時00分～11時30分
○会 場：ソフトピアジャパンセンター11階 中会議室3

1 令和7年度事業計画書について

【指定管理者】説明

2 主な質疑応答・意見

【評価員】サテライト入居支援制度が（コロナ禍において）緊急的に行われたが、常設的に行うという意見もある。シェアオフィスのように1人で机のみというニーズも意外にあるのではないか。

【指定管理者】ニーズが高まれば、シェアオフィスの形態も含めて今後検討していく。

【評価員】（効率的な施設運営のために）標準的な稼働率をKPIとして設定しておいた方が良いのでは。会議室を企業の入居スペースに転用可能かどうかという議論も含めて、フレキシブルな運用はあってもいい。

【指定管理者】稼働率、入居率を鑑みながら提案を協議させていただく。

【評価員】横浜の体育館において、中に氷を張り、カーリングが開催された。利用者からホールの使用の仕方では色々な要望があったらチャレンジしてみるのもいいと思う。

【評価員】入居者アンケートの回答率が悪いという話があったが、不満が少ないため回答率が低いのではと感じる。もし数値目標として回答率を立てるのであれば、回答者にボックスティッシュなどの特典をあげるとよいのでは。

【指定管理者】アンケートに答えてもらえる方策をもう少し考えたい。

【評価員】入居率を高めるだけでなく、入居企業のビジネスが成功し、良い会社に成長するためのお世話をしてほしい。

【評価員】来年度の話だけではないが、工事等で施設が使用できなくなる時期がかなり早めに分かるとありがたい。長期的なスパンで計画を立ててもらえると利用者は助かると思う。

【評価員】ソフトピアの指定管理者は他の施設の指定管理者と異なり、単に施設の管理をするだけでなく、エリア全体の調整や情報交換のハブ機能を担っているということ意識してほしい。

【評価員】入居理由、退去理由を調査し、入居率の向上に更に努めて頂きたい。多くのイベントなどを開催されているが、プレスリリースが少ないのではないかと。発信力の強化も必要である。

【評価員】起業家を育てる社会問題を解決する起業の場として、誘蛾灯となる事例を産学官金で作り上げ、ソフトピアジャパンの存在を広く県内外に発信する事が、イメージアップに繋がると考える。

【評価員】（県営住宅について）利用者が減少するには理由がある。何故、転居するのか調査し PDCA を回すと良いのではないかと。

【評価員】（県営住宅について）建物自体が老朽化しているので、危機管理体制（自助・共助・公助）を明確（役割分担）に、可視化してはどうか。

【評価員】（県営住宅について）建物の立地（生活の利便性）などを考慮し、県の規定も柔軟性を持たせた家賃設定が望まれるのではないかと。

3 評価結果

令和7年度ソフトピアジャパンセンター等指定管理業務に係る事業計画は適当であると認める。